



区議会だより

No.178

平成17年1月16日発行

編集・発行／荒川区議会 E-mail kugikai@city.arakawa.tokyo.jp
〒116-8501 東京都荒川区荒川 2-2-3 電話03-3802-3111 (代表)

新年号
平成16年第4回定例会号



議長 菅谷 安男



副議長 萩野 勝

11月に誕生した西川新区長のもと、荒川区は新たなスタートを切りました。区議会といたしましても、区議会の役割を再認識するとともに、契約制度の改善等による不正防止策の徹底、災害対策、教育・少子化対策等、山積する諸課題に全力を傾け、失われた信頼を一日も早く取り戻すべく努力してまいります。本年も、区民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。区民の皆様には、新春をお健やかに迎えるのにとお慶び申し上げます。さて、昨年はアテネオリンピックが開催され、北島康介選手をはじめ、多くの日本人選手の活躍に湧き上がった一方で、台風や新潟中越地震など多くの災害に見舞われた年でした。いまだに被災地では避難生活を余儀なくされている方々もおり、一日も早い復興を願わずにはいられません。また、区政始まって以来の事件となった、区長助役の逮捕という不祥事が、区政に混乱をもたらした。区民の信頼を失墜させたことは行政を監視する立場である議会としても、深く反省いたすところであります。

区民の皆様には、新春をお健やかに迎えるのにとお慶び申し上げます。さて、昨年はアテネオリンピックが開催され、北島康介選手をはじめ、多くの日本人選手の活躍に湧き上がった一方で、台風や新潟中越地震など多くの災害に見舞われた年でした。いまだに被災地では避難生活を余儀なくされている方々もおり、一日も早い復興を願わずにはいられません。また、区政始まって以来の事件となった、区長助役の逮捕という不祥事が、区政に混乱をもたらした。区民の信頼を失墜させたことは行政を監視する立場である議会としても、深く反省いたすところであります。

新年のごあいさつ



議案の審議結果 平成16年第4回定例会

○賛成 ×反対 ー出席 太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は、会派人員)					結果
	自民党	公明党	尚志会	共産党	新産クラブ	
議員提出議案(6件)						
第10号 高齢者虐待防止に関する意見書提出について	○	○	○	○	○	○
第11号 新潟県中越地震被災者の救援及び生活再建のための支援強化を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○
第12号 避難指示が解除された三宅島島民への支援強化を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○
第13号 緊急地域雇用創出特別交付金制度の継続を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○
第14号 消防団の分団本部施設の整備を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○
第15号 被災者生活再建支援法の抜本改正など自然災害被災者支援の拡充を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○
区長提出議案(8件)						
第45号 荒川区ふれあい館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
第46号 荒川区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	×
第47号 荒川区立児童遊園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
第48号 平成16年度荒川区一般会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○
第49号 (仮称)荒川七丁目ひろば館建築工事請負契約	○	○	○	○	○	○
第50号 損害賠償請求事件に関する和解について	○	○	○	○	○	○
第51号 汐入ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○
第52号 東日暮里ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○

区議会第4回定例会が、11月30日から12月9日までの10日間の会期で開かれました。新区長となって初めて開かれたこの定例会では、会議の冒頭、西川区長が、今後の区政運営に関する基本的な考え方を述べました。その後、6名の議員が、区長の基本姿勢をはじめ区政全般にわたり一般質問を行いました。また、本定例会に提出された議案14件はいずれも原案どおり可決されました。

区議会第4回定例会 6名の議員が 新区長に一般質問

委員会構成の変更
12月9日の本会議において、議会運営委員会委員の一部辞任により新しい委員が選任されました。
辞任 相馬堅一 議員
選任 横山幸次 議員

第4回定例会日程	
11月30日	本会議
12月1日	本会議
12月3日	本会議
12月6日	総務区民委員会 文教委員会
12月9日	建設環境委員会 本会議

主な内容	
区政のことをよく一般質問を ...2ページ	意見書提出 ...3ページ
新春を迎えて —各会派新年の抱負— ...4ページ	

主な内容

区政の「目玉」をみる

一般質問要旨

区長の基本姿勢と子育て支援について



須永京子 (自民党)

問 区長は、全ての施策を見直すという必要が区民にとって必要か。

答 区長は、全ての施策を見直すという必要が区民にとって必要か。区政に取組むに当たっての区長の基本的な心構えと議会との関係についての考え方を問う。

答 「身の丈に合った区政」という観点から施策を検証し、区民にとって真に必要な施策や区民福祉向上に向けた施策には、積極的に予算を配分したい。議会との活発な議論を通じて荒川区の明るい未来を切り拓いていきたい。

問 職員倫理条例の制定にあたっては、職員の仕事への誇りを喚起するものであって欲しい。職員を萎縮させ、形式だけの条例ではないことを望むがどうか。

答 職員が公務員として奉職した日の志と誇りを呼び覚まし、区民に信頼される透明で公平公正な区政を創るために条例を制定したい。

問 入札・契約にあたっては、事業者の公平な競争や手続の透明性の確保が重要である。一方で区内業者に対する配慮も必要である。入札契約制度の見直しに向けた見解を問う。

答 これまでより公正で競争性の高い一般競争入札を中心に導入すること。区内業者であること、区内業者が複数あること、という制限を付け、区内事業者の受注機会に配慮したい。

区政の運営スタンスと旭電化跡地利用について



武藤文平 (公明党)

問 区長の信頼を回復するために、早期に不正の再発防止策を講じるべきと考えられている。区長のスタンスを問う。

答 不正の再発防止、情報公開を徹底し、透明かつ公正な区政を実現することにより、荒川区を清潔な自治体に変えていく。

問 議会としても政治倫理条例を制定すべきである。十分な議論の上で区別と議会が一体となった包括的条例を制定することについて区長の見解を問う。

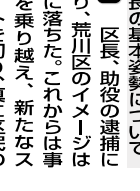
答 議会において、包括的な条例化を図るべきものへの影響もあり、支給対象の拡大は困難な課題と考えている。

問 小学生以上の児童は、身体機能の安定等が乳幼児とは異なる。医療費の本人負担制度との整合性や国民健康保険事業会計

答 小学生以上の児童は、身体機能の安定等が乳幼児とは異なる。医療費の本人負担制度との整合性や国民健康保険事業会計

問 区長は、退職金を返上することを公約した。実現に向けた区長の決意を問う。

区長の基本姿勢と教育環境の整備について



守屋 誠 (尚志会)

問 区長、助役の連補により、荒川区のイメージは地に落ちた。これからは事件を乗り越え、新たなスタートを切り、真に区民のことを考えた区政を行っていくことが重要である。区長の今後の区政運営に取組む姿勢を問う。

答 信頼回復のため、一般競争入札の導入やチェック機能設置など、不正の再発防止の手立てを確立した上で情報公開を徹底し、透明かつ公正な区政運営を進めていく。また、区民と同じ立場に立つて施策を再構築していききたい。持てる力を全てを捧げ、失われた信頼を一日も早く取り戻し、区民サービス向上に向けて身を賭して区政に尽くしていく。

問 前区長時代は、行き過ぎたトップダウンのもと、意味に捉えず、地域活性化に寄与する活用を検討し、都と調整していききたい。その他の質問項目

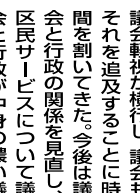
答 旭電化跡地利用に関する取組み姿勢を狭く

問 区内中小企業のニーズに合わせた施策を実施し、産業振興や雇用の確保

答 旭電化跡地利用に関する取組み姿勢を狭く

問 区内中小企業のニーズに合わせた施策を実施し、産業振興や雇用の確保

旭電化跡地利用について



武藤文平 (公明党)

問 合意が議会内で形成された際に十分な連携と調整を行い、実現に向けて努力していく。行財政再建に向けてどのような考え方で事務事業の見直しを行うのか。また、どのような施策に重点を置いて取り組んでいくのか。

答 真に必要な事業などへの重点的な予算配分、職員定数の適正化などにより、確固たる行財政基盤の構築に向け、行財政再建を推進していく。

問 区長は、退職金を返上することを公約した。実現に向けた区長の決意を問う。

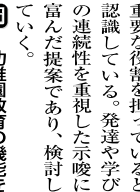
答 荒川区に一身を捧げる覚悟のもと、全力で区長の職責を果たしていく。平成17年第1回定例会には、関係条例を提案する。

問 旭電化跡地利用に関する取組み姿勢を狭く

答 旭電化跡地利用に関する取組み姿勢を狭く

問 旭電化跡地利用に関する取組み姿勢を狭く

幼児教育の充実について



守屋 誠 (尚志会)

問 幼児教育の充実について、幼稚園教育の機能を充実させるためには、責任ある運営体制が必要である。現在の小学校長との兼任の園長ではなく、全国に退職校長を活用した専任の園長を配置してはどうか。

答 退職校長は、学校経営の高い専門性と指導力をもっており、これからの幼児教育の多様な展開に対応する資質を備えている方もいる。その必要性等を含め、前向きに検討していく。

問 幼児教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を

答 幼児教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を

問 幼児教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を

答 幼児教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を

詳細については現在作成中の会議録ができません。区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区ホームページの区議会情報ページ (<http://www.city.akitaoka.jp/kougai/>) で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせて利用ください。

新区長の基本姿勢と 新年度の重点施策について



斉藤 邦子
(共産党)

西川区が発定にあたり基本姿勢を問う

外部調査検討委員

会を設置し、事件だけでなく、癒着構造と区民サービスへの影響を洗い出すべきだ。

答 契約制度の抜本的改革など、不正の再発防止に向け、チェック機能設立を準備している。再発防止策を早期に具体化し、区民に疑惑をもたれないよう努める。

政治資金パーティー禁止
①企業団体献金と政治資金パーティー禁止
答 契約制度を公正で競

収賄事件の再発防止策と 福祉施策について



瀬野 喜代
(新星クラブ)

収賄事件の再発防止策

①区長議員等を含む包括的な政治倫理条例の制定②内部通報制度の導入③議員等による働きかけの文書化について見解を問う。

答 ①議会の協力をいた

争性の高い一般競争入札中心に変えるとともに、契約情報の公開を進める。区政全般の情報公開も、プライバシー保護の重要性を踏まえつつ、積極的に進めていく。

藤澤区政の事業の見直しと新年度予算の重点施策を求める

少人数指導などのため加配されている教員を学級担任に振り向け、30人学級を実施すべきである。

区に加配されている教員は、習熟度別学習やチームティーチングにあたるため、学級担任には振り向ける考えは持っていない。

都に乳幼児医療補助金の所得制限の撤廃を要求するとともに、区として子どもの医療費助成を小中学生まで拡大すべき

入札制度見直しの見解を問う。障害者雇用環境労働条件などの視点導入や業務評価に取り組みの。

制限つき一般競争入札を原則とする。随意契約の厳格な運用を図り、障害者雇用促進などの視点を加えつつ契約情報を公表し、透明性の高い制度にする。また、履行状況の評価第三者の視点で監視する機関設置を行う。

高年齢者や障害者が自立した質の高い生活を送るための生きがいづくり

高年齢者の立場に立った介護予防施設の区認識を問う

高年齢者や障害者就業センター、シルバー人材センター等と連携を図りながら積極的な支援をしていく。高年齢者の健康寿命の延伸は、生活の質の向上と介護費用の抑制につながるものであり、積極的に取り組む。

介護事業者の募集調査と情報公開の実施方法について、区の見解を問う

介護事業者に関する第三者評価制度を活用するとともに、来年度、基礎調査を実施し、その結果を公

「深呼吸できる」、 「手の届く」街に



竹内 捷美
(自民党)

「深呼吸できる」街に
いわゆる近代遺産である文化財を保存し、これらの貴重な文化遺産を後世に継承するために、貴重な知識を持つ区民を語り部として活用し、区民の参加協力を求める。

有形・無形を問わず区内にある様々な歴史や文化財の調査・収集・保存は大変重要なことと認識している。貴重な文化遺産を区民の協力をえて語り部とするのは大変効果がある。

区内だけでなく海外からの観光客も案内で開いていく考えである。

NOPOやボランティアの区の見解を問う

就労、生活支援、まちづくり等の分野において、連携を強め、区民参加のもと、高年齢者や障害者に対する施策の推進を図っていく。

区内産業活性化について
その他の質問項目

区内産業活性化について
その他の質問項目

区内産業活性化について
その他の質問項目

区内産業活性化について
その他の質問項目

区内産業活性化について
その他の質問項目

自助だけでは安全確保が難しいため、区として災害時対応マニュアルを創設すべきでは。②聴覚障害者の社会参加には手話通訳が不可欠であり、区として積極的に養成すべきでは。

障害者の災害対策マニュアルの作成は、実効性の高い支援策であり、今後関係部門と連携し取り組んでいく。手話通訳者派遣事業を実施しており、手話通訳者確保についても講習会を実施し、地域の手話通訳者を養成に努めている。今後も聴覚障害者の社会参加の促進を支援していく。

高年齢者の相談は複数以上関連する相談が多くあり、一つの窓口で済む窓口体制の充実を図るべきでは。

複数の要件がある場合には、関係窓口と連絡しておくほか、庁舎レイアウト図に行き先を表示して渡すなど、これまで以上にきめ細やかな対応を図っていく。

荒川区日韓親善協会等が韓国・濟州市を訪問した。区民レベルで動き出した濟州市との交流について、区の見解を問う。

濟州市との交流は、韓国、濟州市の人々との相互理解、観光、産業の観点等から、大変意義がある。今後、区議会や関係団体の意見を十分検討し、交流のあり方を検討して行く。

新区長に問う
シンボルテマの創設

新区長に問う
シンボルテマの創設

新区長に問う
シンボルテマの創設

新区長に問う
シンボルテマの創設

新区長に問う
シンボルテマの創設

意見書提出

本定例会では、6件を可決し、各関係機関に提出しました。

高年齢者虐待防止に関する意見書
(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・厚生労働大臣あて)

新潟県中越地震被災者の救援及び生活再建のための支援強化を求める意見書
(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・財務大臣・厚生労働大臣あて)

避難指示が解除された三宅島島民への支援強化を求める意見書
(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・厚生労働大臣あて)

緊急地域雇用創出特別交付金制度の継続を求める意見書
(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・厚生労働大臣あて)

消防団の分団本部施設の整備を求める意見書
(東京都知事あて)

被災者生活再建支援法の抜本改正など自然災害被災者支援の拡充を求める意見書
(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・財務大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣・農林水産大臣・国土交通大臣・内閣府特命担当大臣(防災)あて)

被災者生活再建支援法の抜本改正など自然災害被災者支援の拡充を求める意見書
(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・財務大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣・農林水産大臣・国土交通大臣・内閣府特命担当大臣(防災)あて)

被災者生活再建支援法の抜本改正など自然災害被災者支援の拡充を求める意見書
(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・財務大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣・農林水産大臣・国土交通大臣・内閣府特命担当大臣(防災)あて)

被災者生活再建支援法の抜本改正など自然災害被災者支援の拡充を求める意見書
(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・財務大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣・農林水産大臣・国土交通大臣・内閣府特命担当大臣(防災)あて)

被災者生活再建支援法の抜本改正など自然災害被災者支援の拡充を求める意見書
(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・財務大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣・農林水産大臣・国土交通大臣・内閣府特命担当大臣(防災)あて)

新春を 迎えて

各党派新年の抱負



自民党

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

昨年は多くの台風の上陸、新潟中越地震により多数の尊い命が犠牲になり、世相の荒廃に地球が激怒しているが、ごく悲しい事の多い年でありました。私たちは昨年の区の不祥事に鑑み、もう一度原点に立ち返り、真に必要な区政とは何かを考え直し、区民の皆さんが本当に暮らしやすいと感じる荒川区の実現に向け努力してまいります。

行政改革

3000人に及ぶ人員削減や民間委託などの行政改革を行った結果、本年度には財源不足が解消できる見通しができました。しかし、今後は福祉関係、街づくり、教育改革等の予算増が予想されます。今後も行政改革を進めてまいります。

危機管理

区内でもひたくりや空き巣狙い等の犯罪が増加しています。空き交番の解消や街路灯の増設を進め、夜でも安全に帰宅できる安心な街にしていきたいと思います。また、中越地方であった地震や台風や集中豪雨などの自然災害に強い街づくりを積極的に進めます。

教育改革

荒川区教育ビジョンを

策定し、習熟度別学習、学力調査、小中一貫の英語教育を進め子供たちの基礎学力の向上を目指します。学校図書館の改善等により学習環境を整備します。

子育て支援

医療費助成を小学校6年生まで拡大に向け努力します。夜間や緊急時の小児医療体制の整備や駅前保育所の開設等、子育てする荒川区といわれるような環境作りを進めます。

街づくり

世界の玄関口に向け具体的に工事も始まった日暮里駅周辺、南千住駅、町屋駅、三河島駅など区内拠点地区の再開発を進め魅力ある街をつくりたいです。

区内産業活性化

民間の方と協力し観光協会を設立、観光振興を通じて区内の消費拡大を促進します。付加価値の高い製品作りを進め、区内産業の活性化を進めます。小額、短期の融資制度を充実させます。また、商店街への加入促進のルールを制定します。

健康づくり

荒川区の平均寿命は、男性が76・0歳、女性が83・2歳となっております。23区の中で男女とも下から2番目となっております。区民の皆様がいつまでも健康で暮らせるように、生活習慣病の改善、がん検診の充実を行ないます。また、こころはん体操など介護予防策を進めます。

公明党

新年を寿ぎ、謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は皆様のご支援を賜り参院選に大勝利させていただきました。又、昨年前区長、助役の汚職による逮捕というかつてない事件から、この度西川新区長が誕生し、区政への信頼回復とさらなる区民福祉向上に向けてスタートが切られました。今後同じ過ちが二度と繰り返されないよう、公明党区議団は全力で取り組んでまいります。

公明党は、昨年1月に結

尚志会

新年あけましておめでとうございます。

昨年は区政始まって以来の区長、助役の収賄汚職事件が発覚し逮捕されるという誠に恥ずかしいことで全国的に有名になってしまいました。事件を起こした両名もさることながら、事件を防げなかった責任を重く感じています。二度とこのような事件が起きないよう、恣意的な力が働かない制度の構築、政治倫理条例、職員倫理条例の制定などを推進してまいります。

私たちは昨年3月から

5名(志村博司、守屋誠服

党40周年の節目を迎え、日本の政治の責任を担う第三党として、人間主義の旗を掲げ、「大衆ととも」にの

まいるたいと決意しております。

①特別職の退職金制度の見直し
②中立・公正・透明性のある入札制度の確立
③区立小・中学校における二期制の導入
④区内病院への女性専用外来の設置
⑤介護予防の推進と中長

期介護予防計画の策定
⑥文化・芸術の振興
⑦安心・安全な街づくり
⑧公共施設、駅等のバリアフリー化の拡充
⑨就業支援の拡大と新たな雇用の確保
⑩行政と区民の協働化推進

部敏夫、小坂眞三、小坂英二)で民主主義の基本の話し合いを原則とし、新しい「荒川区政」について熱く話し合っています。

昨年1月に就任した西川太一郎新区長とも、より良い区政を目指し、十分に活発な議論を行い区民本位の区政を行います。区政情報リッコンメントの導入、PPO等を含めた幅広い層の区民参加を進め、区政への信頼を取り戻すべく尽力して参ります。

会派名は古代中国の「仁政徳治」を提唱した儒教学者、孟子の言葉で「上たるものは志を高尚に保つべきである」との意味から命名しました。

疑問を持たれるような行



共産党

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、台風・豪雨や地震災害が多発し、政治の役割が問われました。日本共産党は、国民の苦難に応え、現地救援センターを設置、全国から延べ5000人が現地で活動しています。自民党のヤミ献金、荒川前区長逮捕起訴など政治と金の関係が問われました。日本共産党は、金権腐敗政治を一貫して追及し、国民が主人公の新しい政治実現をめざす党です。区長選挙でも党派の利益でなく、企業団体と癒着のない区民から選ぶ立場で奮闘してきました。今年も、都議選の年。オール与党と石原知事は、全国一ひどい福祉切り捨て、「一日の丸、君が代」強制など悪政を進めています。日本共産党は、区民のみなさんと

共同を進め、都政を都民の手に取り戻すため全力をあげます。

いま大増税、憲法改悪、イラク自衛隊派兵延長など小泉政権の悪政の下、くらし平和を守る草の根の声と運動の力で、政治を動かすときです。

汚職構造を一掃、過度なITなど不要不急の事業を見直し、真相究明し再発を防ぐ、政治倫理条例制定、入札制度の抜本改革、医療費無料を小学校まで拡大、小学校の30人学級、小学校英語科など見直し、全小中学校に専任図書館司書配置、マンホール人材センター予算の拡大、耐震診断、耐震リフォーム工事助成、区の直接融資や損失補填付き融資、介護保険料、利用料の減免制度、障害者支援費制度の改善などの区民要求実現に全力をつくします。今年もよろしくお願

いいたします。

新星クラブ

迎春。収賄事件の汚名を晴らすには、徹底した情報公開が必要です。高齢者も障害者も活躍する、子育ても防災も地域ぐるみの街のために片山ひろしとせの喜代は、誰もが参画できる区政を目指します。

元気クラブ

〈生きられる町、暮らせる政治〉町に元気、区政に信頼回復、未来に希望を、斉藤ゆづこ



自由民主党
荒川区議会議員団
幹事長 鈴木 堅之
副幹事長 斉藤 泰紀
副幹事長 竹内 捷美
副幹事長 長崎 慶一
副幹事長 若林 清子
副幹事長 島飼 秀夫
副幹事長 菅谷 安男
副幹事長 浅川 知尚
副幹事長 並木 一元
副幹事長 萩原 喜文
副幹事長 須永 京子

公明党
荒川区議会議員団
幹事長 戸田 光昭
副幹事長 中村 尚郎
副幹事長 吉田 詠子
副幹事長 保坂 正仁
副幹事長 萩野 勝
副幹事長 武藤 文平

尚志会
幹事長 守屋 誠
副幹事長 服部 敏夫
副幹事長 小坂 英二
副幹事長 小坂 眞三
副幹事長 志村 博司

日本共産党
荒川区議会議員団
幹事長 横山 幸次
副幹事長 安部キヨ子
副幹事長 斉藤 邦子
副幹事長 相馬 堅一
副幹事長 小島 和男

新星クラブ
幹事長 瀬野 喜代
副幹事長 片山 浩
副幹事長 齊藤 裕子

あらかわ元気クラブ
幹事長 齊藤 裕子